

# さいたま市だれもが住みよい福祉のまちづくり条例施行規則

## (趣旨)

第1条 この規則は、さいたま市だれもが住みよい福祉のまちづくり条例（平成16年さいたま市条例第22号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

## (定義)

第1条の2 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 建築物 別表第1の1 建築物の表に掲げる生活関連施設又は特定生活関連施設で、小規模建築物以外のものをいう。
- (2) 小規模建築物 床面積の合計が200平方メートル未満（コンビニエンスストア（飲食料品を中心に販売し、かつ、営業時間が1日14時間以上であるセルフサービス方式を採用している店舗をいう。以下同じ。）にあっては、150平方メートル未満）の生活関連施設又は特定生活関連施設であって、別表第1の2 小規模建築物の表に掲げるものをいう。

## (生活関連施設及び特定生活関連施設)

第2条 条例第2条第2号の規則で定める施設は、別表第1の生活関連施設の欄に掲げる施設とする。

2 条例第2条第3号の規則で定める施設は、別表第1の生活関連施設の欄に掲げる施設のうち、当該特定生活関連施設の欄に定める施設とする。

## (整備基準)

第3条 条例第13条の規則で定める基準は、別表第2から別表第7までに定めるとおりとする。

## (適合証の交付等)

第4条 条例第16条第1項の請求は、適合証交付請求書（様式第1号）を市長に提出して行わなければならない。

2 前項の請求書には、整備項目表（様式第2号）及び別表第8の左欄に掲げる区分に応じ同表右欄に掲げる図書を添付しなければならない。ただし、条例第17条第1項の規定による届出をした者が前項の請求をする場合は、この限りでない。

3 条例第16条第1項の規定により交付する適合証の様式は、様式第3号のとおりとする。

（新築等の届出）

第5条 条例第17条第1項の規定による届出は、特定生活関連施設の新築等の工事に着手する30日前までに、特定生活関連施設新築等届出書（様式第4号）により行わなければならない。

2 前項の届出書には、整備項目表（様式第2号）及び別表第8の左欄に掲げる区分に応じ同表右欄に掲げる図書を添付しなければならない。

3 条例第17条第1項第6号の規則で定める事項は、特定生活関連施設の新築等の工事の実施時期とする。

（変更の届出）

第6条 条例第17条第2項の規定による届出は、特定生活関連施設変更届出書（様式第5号）により行わなければならない。

2 前条第2項の規定は、前項の届出について準用する。この場合において、同条第2項中「図書」とあるのは、「図書のうち当該変更に係るもの」と読み替えるものとする。

（軽微な変更）

第7条 条例第17条第2項ただし書の規則で定める軽微な変更は、特定生活関連施設の新築等の工事の実施時期の変更のうち、工事の着手又は完了の予定年月日の3月以内の変更とする。

（完了届）

第8条 条例第19条の規定による届出は、特定生活関連施設新築等完了届出書（様式第6号）により行わなければならない。

（適合状況の報告）

第9条 条例第21条第1項の規定による報告は、市長が定める期限までに、特定生

活関連施設適合状況報告書（様式第7号）により行わなければならない。

2 前項の報告書には、整備項目表（様式第2号）を添付しなければならない。

（身分証明書）

第10条 条例第25条第2項の身分を示す証明書は、国土交通省の所管する法律の規定に基づく立入検査等の際に携帯する職員の身分を示す証明書の様式の特例に関する省令（令和3年国土交通省令第68号）で規定する別記様式とする

（国等に準ずる者）

第11条 条例第26条第1項の規則で定める者は、法令により、建築基準法（昭和25年法律第201号）第18条の規定の適用について、国、都道府県又は市町村とみなされる法人とする。

（推進協議会の会長及び副会長）

第12条 さいたま市福祉のまちづくり推進協議会（以下「推進協議会」という。）に、会長及び副会長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、推進協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

4 会長及び副会長ともに事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。

（推進協議会の臨時委員）

第13条 推進協議会に、特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、臨時委員を置くことができる。

2 臨時委員は、学識経験を有する者、推進協議会の推薦を受けた者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

3 臨時委員の任期は、条例第30条第5項の規定にかかわらず、特別の事項に関する調査審議が終了するまでとする。

（推進協議会の会議）

第14条 会長は、推進協議会の会議を招集し、その議長となる。

2 推進協議会は、委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数が出席しなければ会

議を開くことができない。

- 3 会議の議事は、出席した委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(推進協議会の部会)

第15条 会長が必要と認めるときは、推進協議会に部会を置くことができる。

- 2 部会は、会長の指名する委員及び臨時委員をもって組織する。
- 3 部会に部会長を置き、当該部会に属する委員の互選によりこれを定める。
- 4 前条の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、前条中「推進協議会」とあるのは「部会」と、「会長」とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

(推進協議会の庶務)

第16条 推進協議会の庶務は、保健福祉局において行う。

(推進協議会の運営事項)

第17条 この規則に定めるもののほか、推進協議会の運営に関し必要な事項は、会長が推進協議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成17年1月1日から施行する。ただし、第12条から第17条までの規定は、平成16年8月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則は、この規則の施行の日以後に工事に着手した生活関連施設及び特定生活関連施設について適用し、同日前に工事に着手した生活関連施設及び特定生活関連施設については、なお従前の例による。
- 3 この規則の施行の日から30日を経過するまでの間に特定生活関連施設の工事に着手する特定生活関連施設設置者についての第5条の規定の適用については、同条中「特定生活関連施設の新築等の工事に着手する30日前までに」とあるのは、「この規則の施行後速やかに」とする。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則による改正後のさいたま市だれもが住みよい福祉のまちづくり条例施行規則の規定は、この規則の施行の日以後に工事に着手した生活関連施設及び特定生活関連施設について適用し、同日前に工事に着手した生活関連施設及び特定生活関連施設については、なお従前の例による。
- 3 この規則の施行の日から30日を経過する日までの間に特定生活関連施設の工事に着手する場合のこの規則による改正後のさいたま市だれもが住みよい福祉のまちづくり条例施行規則第5条の規定の適用については、同条第1項中「特定生活関連施設の新築等の工事に着手する30日前までに」とあるのは、「この規則の施行後速やかに」とする。

附 則

この規則は、平成24年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則

この規則は、令和元年7月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の規定により作成されている様式については、当分の間、使用することができる。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、令和3年10月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前のさいたま市だれもが住みよい福祉のまちづくり条例施行規則の規定により作成されている様式については、当分の間、使用することができる。

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。